

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	36	豊田市立 元城小 学校	代表	荒川 直文
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域とかかわり、地域に学び、地域とともに歩む活力ある学校づくり	分野	b	地域連携
サブテーマ	豊かなかかわりを大切にした地域や保護者との体験活動を通して	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>本校は、地域とかかわり、地域に学び、地域とともに歩む活力ある学校づくりを推進している。</p> <p>各学年が、授業への地域講師招聘や、地域へ出向き「人、もの、こと」を生かしかかわることを通して、地域のよさを体感し地域への愛着を深めることのできる学習活動に取り組んでいる。また、「親子ふれあい学級」、「シャキッとモーニング」、「こども園との交流」などに家庭や地域と連携して取り組み、多様な交流を通して豊かな心を育むことをめざしている。</p> <p>豊かな心づくりを推進していく基盤となる「心を耕す活動」として「縦割り班活動（掃除・遊び）」、「ステ木カードによる賞賛」を継続しており、思いやりの心や協調性とともに、自己有用感や自己肯定感を育てている。また、保護者・地域と連携して、心を支え、心を鍛えながら、かかわる人と心を通わすことのできる子どもを育成していく。さらに、読み聞かせや図書館整備、クラブ活動、生活科・総合的な学習の時間に地域の方の協力を得て、子どもたちの感受性や社会性、個性の伸長を図っていく。</p> <p>また、自然災害に対して危機意識を高めるとともに、自分の命は自分で守るという安全に対する意識を高めるために、地域と連携して防災教育の充実を図る。</p> <p>昨今、子どもたちの外遊びが減少し、健康な体づくりの基盤となる運動能力の低下が懸念される。体力向上補助指導員を配置し、体の使い方や運動のこつを学び、運動の楽しさやできる喜びを感じることで自ら運動しようとする子どもの育成を図る。</p>			
活動内容・計画	<p>①[親子ふれあい学級]：学年ごとに担任と保護者が連携し、親子で制作や体験活動等を行い、親子間の交流を図る。（1・6年生）</p> <p>②[こども園との交流]：6年生がみずほこども園、1年生が拳母こども園との交流体験を通して、思いやる心を育み、自らの成長を振り返る活動を行う。</p> <p>③[地域を生かした学習]：各学年で、地域とかかわりや地域への愛着を深める学習活動に取り組む。1年生は昔遊び体験、野菜づくり、2年生は学区探検、八日市での野菜苗購入、3年生は商店街の方との交流、福祉体験学習、4年生は環境学習、5年生は米づくり、6年生は地域の文化や歴史探訪、特別支援学級は野菜づくり等を行う。</p> <p>④[3つのステ木な心]：すてきな「がんばり」「思いやり・やさしさ」「あいさつ」を子どもたちが互いに発見し、全校に知らせ賞賛する。「あいさつ」については、学校・家庭・地域が一体となって推進する。</p> <p>⑤[読書活動]：読書活動や地域ボランティアによる読書集会・読み聞かせ等を通して、感性を高め、豊かな心を育む。</p> <p>⑥[シャキッとモーニング]：早起き・朝ごはん・早寝の生活リズムの習慣化を常時呼びかけ、2か月に1回強化週間を設ける。学校保健委員会や学校だより・学年だより等で啓発し、保護者と連携を図る。</p> <p>⑦[クラブ活動]：地域学校共働本部を通じて、各分野の専門的な地域講師を招聘し指導を受ける。（4・5・6年生）</p> <p>⑧[防災学習]：地域と協力し、防災についての体験活動を行う。</p>			
補助員配置	体力向上補助指導員 校内整備員			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師を招いての生活科・総合的な学習の時間やクラブ活動、こども園との交流等の地域とかかわり地域に学ぶ活動によって、地域と共生するという意識が子どもたちに育っている。「親子ふれあい学級」（1・6年生）では、保護者の出席率が例年ほぼ100%であり、子ども同士や親子のふれあいが深まる同時に、親同士の連携も深まっている。 ・地域の方との交流を通して、地域を知り地域に対する愛着を育てることができる。HPや学校だよりで、各活動の様子を詳しく載せ、本校が「地域連携」をテーマに活動していることを知らせ、理解と協力を得ている。 ・「シャキッとモーニング」は、生活リズムづくりの運動を推進していくことにより、基本的生活習慣の定着を図っていく。また、「ステ木カード」や「読書活動」を通して、よりよい人間関係や豊かな感性が育ってきている。これらの活動は毎年、保護者アンケートの結果からも評価が高い。 ・「防災学習」においては、保護者や地域を巻き込んで、災害に対しての訓練や体験学習を行うことで、危機意識とともに防災に対する意識を高めることができると考えられる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習活動時における子どもたちの活動の様子、振り返りの記述 ・親子ふれあい学級等の事後アンケート調査（保護者・児童） ・シャキッとモーニングのパーカート達成率 ・各学習活動に対する保護者アンケートの結果 			